

中学校・道徳の内容項目の解説

希望・勇気・強い意志

●中学校学習指導要領（平成20年3月）

1 主として自分自身に関すること	[一般的な呼称例]
(2) より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	希望・勇気・強い意志

●解説

全体的な理解	人間としてよりよく生きるには、目標や希望をもつことが大切である。「目標」には、必ずしも生涯をかけて達成するといった遠大なものだけでなく、身近で日常的な努力によって達成できるものもある。日常生活の中のほんの小さな目標であっても、それが達成されたときには満足感を覚え、自信と勇気が起こるものである。このような達成感には、自己の可能性を伸ばし、人生を切り拓いていく原動力となり、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすことにもなる。このことを積み重ねる中で、人生の理想や目標を達成しようとする強い意志が養われ、生きることへの希望もはぐくまれてくる。
発達の観点	中学生の時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対しては意欲的に取り組む態度が育ってくる。また、希望と勇気をもって生きる崇高な生き方に憧憬をもつ年代でもある。しかし、障害や困難に直面すると簡単に挫折し物事をあきらめてしまうこともあり、理想どおりにいかない現実にも悩み苦しむこともある。更に、変化の激しい社会であることから、中学生にとっては目標を立てにくい状況にもあるといえる。
指導の着眼点	指導に当たっては、具体的な生活の中で目標を達成した経験を振り返らせたり、日常的な努力で達成できる目標をもたせたりすることが大切である。そして、達成できたときの成就感や満足感を繰り返し味わわせることを通して、希望と勇気が生まれてくることを自覚するよう指導することが重要である。また、生涯をかけての理想や目標をもつことが、日々の生活を充実することにつながることに気付かせることも大切である。そのためには、広い視野に立って、ものごとを正しく判断し、目標を実現するための諸条件を検討しながら希望と勇気をもって実行するとともに、困難に屈しないでねばり強く最後まで着実にやり抜く強い意志と態度を育てるように指導することが必要である。

文部科学省「中学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年9月）より

■参考：小学校学習指導要領（平成20年3月）

1 主として自分自身に関すること	[一般的な呼称例]	
低学年	(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。	勤勉努力
中学年	(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。	勤勉・粘り強さ
高学年	(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずに努力する。	希望・勇気・努力